

数値目標・重要業績評価指標一覧

A：基準時の数値を上回っている B：基準時の数値と横ばい（±1.0%未満） C：基準時の数値を下回っている

project1 ふるさと一番！定住促進プロジェクト

| 数値目標（指標） | | |
|----------|---------------|---------------|
| 指標 | 基準値 (R2年度) | 目標値 (R7年度) |
| 生産年齢人口割合 | 49.81% | 維持 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|--------|------|------|------|------|
| 目標 | | | | | 維持 |
| 実績 | 49.08% | | | | |
| 進捗状況 | B | | | | |

| | |
|----|--|
| 総括 | <ul style="list-style-type: none"> 地元企業のPRや助成金制度の創設、産業の生産効率向上支援などにより、地元就労支援は一定の成果を挙げている。 若者が自らイベントを企画する機会を提供することで、ふるさと愛の醸成と若者の活躍の場が創出され、地元定着に寄与している。 大雪対策や公共交通の再編が順調に進み、住民ニーズに応じたサービスの提供ができており、暮らしやすさの創造に繋がっている。 <p>→各施策は一定の成果を上げているものの、出生数の減少や高齢化が進み、生産年齢人口は減少している。 ⇒地元企業のPRやキャリア教育などに積極的に取り組み、より一層の地元就労促進、若者の定着に注力していく。</p> |
|----|--|

地元就労の促進、雇用拡大

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) |
|----------------------|-------|--------------|-------------|
| 1 大学生などのインターンシップ受入人数 | 商工観光課 | 0人 | 3人/年 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 目標 | | | | | 3人/年 |
| 実績 | 0人/年 | | | | |
| 進捗状況 | B | | | | |

| | | |
|----|-----------|--|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【農業】新規就農者等を対象に、経営を継承発展させる取組みや規模拡大、条件整備に係る費用に対し補助金を交付。また、親元就農者への激励金交付制度を創設。</p> <p>【企業】企業ガイドブックを作成し、企業セミナー開催時や高校3年生のいる世帯、県内高校などに配付。</p> <p>【教育】じもと就職の学卒者に奨励金を交付。おもたか奨学金返済支援制度を創設。やまがた就職促進奨学金返還支援と併せ、市内就業、定住者への奨学金返還支援を実施。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【農業】儲かる農業支援事業補助金の実績が28件があり、営農条件整備が進み、生産性の向上につながった。</p> <p>【企業】就職を控えた高校生等に、市内企業を知ってもらうことに繋がった。</p> <p>【教育】奨励金は8件の実績があり、就職準備に要した費用負担を緩和することで、地元定着の促進が図られた。返還支援を活用した就業開始予定者のうち2名が県内就職し、地元定着が図られた。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【農業】〈課題〉農業の生産性向上と親元就農者の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・儲かる農業支援事業や親元就農支援事業を継続し、スマート農業技術等を活用した生産性向上と親元就農者の増加を目指す <p>【企業】〈課題〉幅広い世代で地元企業に対する理解促進が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を推進するとともに、企業ガイドブックの配付対象を小中学生にも拡大する。 ・山形大学工学部1年生の企業見学を実施し、インターンシップを通じた就業体験の機会を創出する。 <p>【教育】〈課題〉市内就労への意識向上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金返還支援を継続するとともに、広く制度周知を図る。 |

ふるさと愛の醸成と若者の活躍

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) |
|---------------|-------|--------------|-------------|
| 2 地元企業との交流 | 教育指導室 | 0回 | 各学校1回/年 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|---------|------|------|------|---------|
| 目標 | | | | | 各学校1回/年 |
| 実績 | 各学校1回/年 | | | | |
| 進捗状況 | A | | | | |

| | | |
|----|-----------|--|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【教育】尾花沢中と福原中の生徒を対象に、地元企業の話の聞いたり、仕事の一部を体験できるwakuwaku-workを開催。</p> <p>【若者の活躍】ウィンタースポーツイベントのクールモンキーカップを開催。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【教育】地元企業への理解が進んだことで、仕事への関心、意欲が高まった。</p> <p>【若者の活躍】青年層がイベントを企画することで、若者による地域活動の活性化とふるさと愛醸成が図られた。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【教育】〈課題〉若い世代が仕事に興味関心を持てる機会の創出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・wakuwaku-workを継続し、中学校のキャリア教育を進める。 <p>【若者の活躍】【課題】次代の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層から各種実行委員会のメンバーになってもらえるよう働きかけ、若手リーダーと地域の担い手を育成する。 |

数値目標・重要業績評価指標一覧

暮らしやすさの創造

| 重要業績評価指標 (KPI) | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------------|-------|-----------|----------|--------|------|------|------|------|
| 3 公共交通空白地帯 | 市民税務課 | 4 地区 | 0 地区 | | | | | 0 地区 |
| | | | | 3 地区 | | | | |
| | | | | A | | | | |
| 4 流雪溝整備率 | 建設課 | 74% | 80% | | | | | 80% |
| | | | | 74.90% | | | | |
| | | | | A | | | | |

| | | |
|----|-----------|---|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【公共交通】 ロケーションシステムを提供している大石田通学線のバス運行やおぼくるを導入。</p> <p>【克雪対策】 和合・田沢地区、名木沢地区など各地区の流雪溝整備工事を実施。</p> <p>【観光拠点】 レストラン徳良湖や花笠グラウンドの改修など、徳良湖周辺施設の修繕工事を実施。</p> <p>【都市計画】 都市全体の将来像や土地利用、交通体系の在り方に係る方針を定めるため、都市計画マスタープランと立地適正化計画を策定した。</p> <p>【住宅】 克雪住宅や新築住宅の取得支援など、ふるさと暮らし応援事業助成金の交付。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【公共交通】 おぼくるの利用者数が路線バス利用者数の2倍に増え、地域に暮らす人々の利便性向上につながった。</p> <p>【克雪対策】 地域住民の除雪作業負担軽減が図られ、市の克雪体制強化につながった。</p> <p>【観光拠点】 利用者が安心かつ快適に過ごせる憩いの場の創出につながった。</p> <p>【都市計画】 子育て世帯や高齢者など、誰もが暮らしやすい都市づくりの推進につながった。</p> <p>【住宅】 市民及び移住者に対し所要の助成を行い、快適な生活環境づくりに役立ち、定住促進につながった。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【公共交通】 〈課題〉本市の実態に即した最適な公共交通を構築し、生活交通ネットワークを確保すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通需要を分析しながら、最適な交通手段を検討し、タクシーを中心とした交通ネットワークの確保に取り組む。 <p>【克雪対策】 〈課題〉更なる克雪体制の強化と除雪作業の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の流雪溝整備工事を継続するとともに、流雪溝の水を確保するため水利権獲得に向けた研究を進める。 <p>【観光拠点】 〈課題〉施設の老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳良湖周辺整備マスタープランに従って適切に施設整備を実施していく。 <p>【都市整備】 〈課題〉学園構想との整合確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園構想の動向を注視しながら、計画の変更、更新作業に取り組む。 <p>【住宅】 【課題】 定住促進のための快適な生活環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅地取得や民間賃貸住宅の家賃補助など、補助金交付を継続する。 |

委員からの意見

- ・農業に意欲的な若者が増えている。農業の生産性向上支援だけでなく、親元就農支援を行っていることも広く周知してはどうか。
- ・市外の企業に就職しても、市内に居住し続ける若者が一定数いる。しかし、結婚を機に市外に転出してしまいうケースが多い。住宅の貸付支援など若者定着に向けた支援に取り組む必要がある。
- ・スマート農業支援は交付金を配るだけでなく、高精度の測位ができるRTKを用いた農業の研究推進にも取り組んで欲しい。
- ・小中高生とその保護者に地元企業を知ってもらうことが重要。企業と連携した就労支援を進めてほしい。

数値目標・重要業績評価指標一覧

A：基準時の数値を上回っている B：基準時の数値と横ばい（±1.0%未満） C：基準時の数値を下回っている

project2 あのまちで暮らしてみたい！移住促進プロジェクト

| 数値目標（指標） | | |
|----------|---------------|---------------|
| 指標 | 基準値 (R2年度) | 目標値 (R7年度) |
| 移住世帯 | 70世帯 | 100世帯 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|------|------|------|------|-------|
| 目標 | | | | | 100世帯 |
| 実績 | 87世帯 | | | | |
| 進捗状況 | A | | | | |

| | |
|----|---|
| 総括 | <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税を通じた本市の魅力発信やおばなざわ雪まつりなどのイベント開催により、本市に関心を持つ人が増え、尾花沢ファンの拡大につながった。 空き家バンクを通じた住宅の供給や各種助成金の運用など支援制度の充実により、移住しやすい環境が整備された。 作物の生産基盤強化やスマート農業の普及推進による生産性の向上が図られ、徐々に働きやすい環境が整ってきている。 <p>⇒本市の魅力発信や移住政策の効果が着実に顕れ、本市に興味関心を持ち移住してきた世帯が17世帯増加している。 ⇒これまでの移住施策に加え、ふるさと納税やイベントを通じた本市の魅力発信を加速し、移住世帯の更なる増加を目指す。</p> |
|----|---|

尾花沢ファンの拡大

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) |
|---------------|-------|--------------|-------------|
| 1 体験ツアーの参加者数 | 定住応援課 | 45人 | 95人/年 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|-------|------|------|------|-------|
| 目標 | | | | | 95人/年 |
| 実績 | 45人/年 | | | | |
| 進捗状況 | B | | | | |

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) |
|----------------|-------|--------------|-------------|
| 2 文化・スポーツ合宿の件数 | 社会教育課 | 1件/年 | 6件/年 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 目標 | | | | | 6件/年 |
| 実績 | 1件/年 | | | | |
| 進捗状況 | B | | | | |

| | | |
|----|-----------|--|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【移住体験ツアー】 移住イベントへのオンライン出展やオンライン移住体験ツアーを実施した。</p> <p>【ふるさと納税】 ふるさと納税を通じた魅力発信事業を実施。</p> <p>【スポーツ】 市内施設を活用した合宿等を行う団体に対し助成金を支給。</p> <p>【イベント】 本市ならではの冬の楽しみ方を市内外に対し国内外の人に提供するため、尾花沢雪まつりを開催。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【移住体験ツアー】 市外の方に向けた本市の情報発信や体験機会の創出により、本市の魅力発信につながった。</p> <p>【ふるさと納税】 8億円弱の寄附を募り、本市振興のための各事業に充当できたため、尾花沢に関心を持つ人が増え、交流人口の拡大が図られた。</p> <p>【スポーツ】 助成金を活用した合宿が1件あり、市内施設の利用促進と関係人口創出が図られた。</p> <p>【イベント】 親雪活動の推進と冬の魅力発信により、本市への冬期間の観光客増加につながった。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【移住体験ツアー】 〈課題〉本市の知名度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏で開催される移住、就農フェアへの出展や移住体験ツアーを継続しながら、SNSでの情報発信や移住パンフレットの更新を行う。 <p>【ふるさと納税】 〈課題〉ふるさと納税の運営体制強化と返礼品の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトの充実による魅力発信力向上と新規返礼品の開発に取り組む。 <p>【スポーツ】 〈課題〉合宿誘致数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成金支給を継続するとともに、広く制度周知をしていく。 <p>【イベント】 〈課題〉雪まつりの完全開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策を講じながらコロナ以前の規模での雪まつり開催を目指す。 |

数値目標・重要業績評価指標一覧

移住支援

| 重要業績評価指標 (KPI) | | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------------|------------|-------|--------------|-------------|------|-------|------|------|------|-------|
| 3 | 空き家バンク登録件数 | 定住応援課 | 15件/年 | 20件/年 | 目標 | | | | | 20件/年 |
| | | | | | 実績 | 14件/年 | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | C | | | | |

| | | |
|----|-----------|--|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【空き家】 空き家バンク登録制度を運営し、空き家管理に悩む所有者と空き家を購入したい人とのマッチングを支援。</p> <p>【移住推進】 住宅取得への助成や食の支援事業など、移住支援制度の周知、運営。</p> <p>【地域起こし協力隊】 地域おこし協力隊3名を受入れ、地域各所にて賑わい創出の取り組みを実施。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【空き家】 14件の登録と9件の契約が成立し、空き家の利活用促進が図られた。</p> <p>【移住推進】 移住世帯への支援を充実させることで、移住者の確保につながった。</p> <p>【地域おこし協力隊】 地域おこし協力隊が各地区の行事等に参加することで、地域の活性化と定住につながった。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【空き家】 〈課題〉 空き家対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進事例の調査、研究と空き家勉強会を開催し、空き家を増やさない仕組みづくりに取り組む。 空き家バンクのパンフレットを活用した、空き家バンク登録へのきっかけづくりを行う。 <p>【移住定住】 〈課題〉 デジタル技術活用による効果的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住フェアや就農フェアなど対面式の情報発信のほか、SNSやVRによるデジタル技術活用による情報発信に取り組む。 <p>【地域おこし協力隊】 〈課題〉 移住者の増加と孤立防止。</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き協力隊を募集しながら、定住に向けた支援を実施。 移住者の悩みや相談事を吸い上げる仕組みづくりを行う。 |

新しい働き方の提案

| 重要業績評価指標 (KPI) | | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------------|----------------|-----|--------------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| 4 | 北村山GPS研究会加入農家数 | 農林課 | 1件 | 10件 | 目標 | | | | | 10件 |
| | | | | | 実績 | 6件 | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | A | | | | |

| | | |
|----|-----------|---|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | 【農業】 すいか生産基盤の強化やスマート農業技術の導入に対して助成金を交付。 |
| | 取組みの効果 | 【農業】 儲かる農業支援事業費補助金の実績が28件あり、すいか生産の担い手確保や条件整備の推進、スマート農業技術への理解促進が図られた。 |
| | 課題と今後の取組み | <p>【農業】 〈課題〉 スマート農業技術の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート農業技術の市内ほ場での実証試験や課題検証を行い、中山間地域にあった技術活用、導入を加速する。 <p>【起業】 〈課題〉 創業・起業の機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域でのセミナーに参加しながら、本市での起業、創業に関心のある人の掘り起こしを行う。 各支援機関との連携を図りながら、創業支援体制の構築を目指す。 <p>【コワーキングスペース】 〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 徳良湖自然研修センターのコワーキングスペース化に向けた工事を実施する。 |

委員からの意見

- ・市外団体への合宿助成金制度は宿泊施設のPRと併せ、指定管理者と連携して取り組む方が効果的ではないか。
- ・今はどこにいても仕事ができる社会のため、より良い居住環境を提供できれば移住者が増えると思われる。状態の良い空き家情報をいち早く入手し、移住希望者とスムーズにマッチングできる体制を築くことが重要である。
- ・地域企業は人材不足の状態。都市部から仕事を求めてくる人は、空き家ではなく新築を求めめるケースが多いように感じる。「移住」を目的にくる人と「仕事」を求めて来る人がいるため、ターゲットを明確にした施策を展開していく必要がある。
- ・観光文化資産を活かした体験や物品のPR施策を展開し、関係人口の増加を目指して欲しい。また、来訪者の受け入れ体制を強化し、移住につなげる方法を検討して欲しい。

数値目標・重要業績評価指標一覧

A：基準時の数値を上回っている B：基準時の数値と横ばい（±1.0%未満） C：基準時の数値を下回っている

project3 子育て日本一への挑戦！子育て応援プロジェクト

| 数値目標（指標） | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------|---------------|---------------|-------|------|------|------|------|
| 指標 | 基準値 (R2年度) | 目標値 (R7年度) | | | | | |
| 年少人口割合 | 9.59% | 維持 | | | | | 維持 |
| | | | 9.26% | | | | |
| | | | B | | | | |

| | |
|----|--|
| 総括 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響により婚活支援は期待した効果が得られなかったが、子どもの遊び場確保や新婚世帯の住宅支援、医療体制の強化により、安心して子どもを産み育てる環境が整備された。 ・学校における英語教育やICT教育などが展開され、新しい時代を牽引できる最適、最新の教育環境の整備が進んだ。 ・ワークライフバランス実現のための助成金制度を運用し、本市における女性活躍が推進された。 <p>⇒各施策は一定程度の効果が得られているものの、高齢化の進行や出生数の減少に伴い、年少人口割合が減少している。 ⇒デジタル技術を活用しながら、妊娠から子育て期まで切れ目ない支援を実施し、子育て環境の充実を図る。</p> |
|----|--|

希望を叶える出産・子育て環境

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------------------|-------|--------------|-------------|--------|------|------|------|---------|
| 1 LaLaネット会員行動日数 | 社会教育課 | 375日/年 | 400日/年 | | | | | 400日/年 |
| | | | | 257日/年 | | | | |
| | | | | C | | | | |
| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 2 地域子育て等拠点施設利用者数 | 福祉課 | 20,734人 | 22,000人 | | | | | 22,000人 |
| | | | | 6,106人 | | | | |
| | | | | C | | | | |

| | | |
|----|-----------|---|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【婚活】結婚相談員2名を配置し相談体制を強化。結婚相談会や婚活イベントを開催しLaLaネット会員の活動を支援。</p> <p>【子育て】地域子育て支援拠点を整備、運営。子育て支援センターの設置運営や病児、病後児保育、延長保育等を実施。</p> <p>【住宅】新婚世帯の住居費や引越費用に対し助成金を交付。</p> <p>【医療】妊婦健診や子どもの医療費、予防接種費用等の助成を実施。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【婚活】コロナ禍の行動制限により、想定した活動ができず効果検証が困難。</p> <p>【子育て】子どもの遊び場確保により、子どもの体力強化、心身の育成が促進された。子育て世帯の負担軽減につながった。</p> <p>【住宅】新婚世帯の新生活における経済負担が軽減され、快適な住環境創出につながった。</p> <p>【医療】出産から育児まで切れ目ない支援を行い、医療体制の強化と安心して子育てできる環境の構築につながった。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【婚活】〈課題〉若年層の参加者増加と活動機会の創出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベントの内容を精査し、若年層が参加しやすい仕組みを検討する。企業間交流などを活用したイベントを検討する。 <p>【子育て】〈課題〉子ども目線のサービス充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境を充実するほか、わんぱくキッズのような子どもの育成に主眼を置いた事業を検討、展開していく。 <p>【住宅】〈課題〉助成金活用世帯の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要件緩和検討しながら取組みを継続する。 <p>【医療】〈課題〉効果的に保健指導を行える体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種費用助成を継続しながら、多様化する相談業務に対応する保健師の確保とオンライン相談の周知に取り組む。 |

最適・最新の教育環境

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---------------|-------|--------------|-------------|------|------|------|------|------|
| 3 英語検定合格率 | 教育指導室 | 57% | 80% | | | | | 80% |
| | | | | 62% | | | | |
| | | | | A | | | | |

| | | |
|----|-----------|--|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【英語教育】英語検定料の助成やイングリッシュキャンプの実施。ALTの配置。</p> <p>【学校施設】尾花沢市小中学校の在り方に関する基本方針の策定。</p> <p>【ICT教育】ICT活用授業支援員1名を配置。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【英語教育】ALTとの交流などを通して英語に触れる機会の創出により、市内小中学生の英語と国際理解の促進が図られた。</p> <p>【学校施設】本市学校教育の在り方が明確になり、学校施設の適正規模と適正配置の検討が進んだ。</p> <p>【ICT教育】児童のタブレット活用など、学校の様々な場面で情報通信機器の活用が進み、ICT教育の充実が図られた。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【英語教育】〈課題〉英語学力の向上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度同様にALTの配置やイングリッシュキャンプの実施を通し、英語学力の向上を目指す。 <p>【学校施設】〈課題〉学校施設の適正配置。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合小学校の建設地の選定や法規制解除に取り組む。 <p>【ICT教育】〈課題〉情報活用能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用を活用する児童や教職員の能力向上と教育の質向上に取り組む。 |

数値目標・重要業績評価指標一覧

男女がともに輝く地域づくり

| 重要業績評価指標 (KPI) | | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------------|--------------|-------|--------------|-------------|------|--------|------|------|------|------|
| 4 | 事業主行動計画策定企業数 | 中央公民館 | 9社 | 15社 | 目標 | | | | | 15社 |
| | | | | | 実績 | 11社 | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | A | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 5 | 審議会など女性委員の割合 | 中央公民館 | 8.9% | 20% | 目標 | | | | | 20% |
| | | | | | 実績 | 21.30% | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | A | | | | |

| | | |
|----|-----------|---|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | 【女性活躍】ワークライフバランス支援を実施している企業に対し奨励金を交付。 |
| | 取組みの効果 | 【女性活躍】2件の交付実績があり、企業をはじめする市内全体における女性活躍の推進に繋がった。 |
| | 課題と今後の取組み | 【女性活躍】〈課題〉市内各所におけるワークライフバランスの実現と女性活躍の推進 ・中央公民館と商工観光課で情報交換を行い、部署間の連携を強化しながら中小企業に取組拡大の周知活動を行う。 ・男女平等意識の浸透のため、広報活動や学習会を開催する。 |

委員からの意見

- ・バレットスクエアの閉鎖に伴い、子育て支援拠点のABESAが閉所した。今のKPIはABESAの利用者も含めた数値目標のため、今後の考え方を整理して欲しい。
- ・子育て環境をさらに充実させるには、ワークライフバランスの実現が不可欠である。

数値目標・重要業績評価指標一覧

A：基準時の数値を上回っている B：基準時の数値と横ばい（±1.0%未満） C：基準時の数値を下回っている

project4 生涯幸せ！健康長寿プロジェクト

| 数値目標（指標） | | |
|----------|----------------------|---------------|
| 指標 | 基準値 (R2年度) | 目標値 (R7年度) |
| 健康寿命 | 男性79.60歳 女性82.20歳 | 延伸 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|------------------|------|------|------|------|
| 目標 | / | / | / | / | 延伸 |
| 実績 | 男性80.2 女性83.6 | | | | |
| 進捗状況 | A | | | | |

| | |
|----|---|
| 総括 | <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段の確保により、高齢者の社会参画が進んだ。地域活動やボランティアへの助成により地域コミュニティの維持につながった。 ・スポーツ団体への助成や文化祭の開催により、地域のスポーツ・芸術文化活動が活発化し、市民の生きがいづくりにつながった。 ・地域の防災力を向上させるための取組みや要援護者支援による災害体制の強化、除排雪体制の強化を進めることで、安心安全に暮らせるまちづくりを進めることができた。 <p>⇒地域とのつながり強化や生きがいづくり、安心して暮らせる環境の創出により、健康寿命の延伸につながった。</p> <p>⇒人口減少が進む中であっても、本市にあった移動手段の確保や地域のつながり維持のための交流機会創出により、健康寿命の延伸に努める。</p> |
|----|---|

つながりづくりと心身の健康増進

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) |
|------------------------|-------|--------------|-------------|
| 1 地域づくりに関する視察研修などの開催回数 | 中央公民館 | 3回/年 | 6回/年 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 目標 | / | / | / | / | 6回/年 |
| 実績 | 3回/年 | | | | |
| 進捗状況 | B | | | | |

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) |
|-----------------------|-----|--------------|-------------|
| 2 各地区「ふれあいいきいきサロン」開催数 | 福祉課 | 1回/年 | 3回/年 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 目標 | / | / | / | / | 3回/年 |
| 実績 | 3回/年 | | | | |
| 進捗状況 | A | | | | |

| | | |
|----|-----------|---|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【社会参加】 移動手段確保のため、高齢者おもしろタクシー券を交付。</p> <p>【ボランティア】 社会福祉協議会で実施する「ふれあいいきいきサロン」などの地域福祉推進事業への助成金交付。</p> <p>【健康増進】 保険事業と介護事業の一体的な実施に向けワーキングチームを立上げ検討を実施。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【社会参加】 タクシー券の使用率66%で好評を得ており、高齢者の社会参加、生活圏の拡大につながった。</p> <p>【ボランティア】 地域ボランティアの育成、地域共助の意識醸成につながった。</p> <p>【健康増進】 庁内の体制整備や事業内容についての検討が進み、包括的な健康増進事業の推進につながった。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【社会参加】 〈課題〉 公共交通おぼくるとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを利用し、タクシー券の電子化に取り組む。 <p>【ボランティア】 〈課題〉 福祉ネットワークの維持、協力員の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金事業を継続するとともに、民生委員の処遇改善等を検討する。 <p>【健康増進】 〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者の健康増進と健康寿命の延伸のため、医療専門職を配置し、高齢者の保健事業の企画運営を実施。 |

芸術文化・スポーツを通じた生きがいづくり

| 重要業績評価指標（KPI） | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) |
|---------------------|-------|--------------|-------------|
| 3 芸術文化活動の発表・鑑賞機会の提供 | 社会教育課 | 2回/年 | 3回/年 |

| | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 目標 | / | / | / | / | 3回/年 |
| 実績 | 2回/年 | | | | |
| 進捗状況 | B | | | | |

| | | |
|----|-----------|---|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【文化活動】 芸術文化活動を行う個人や団体の発表機会を創出するため市民文化祭を開催した。</p> <p>【スポーツ】 スポーツ協会所属団体に対し、市民総体開催費用を助成。</p> <p>【地域振興】 地域団体が地域振興のためにする活動に対して助成金を交付。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【文化活動】 芸術活動を広く周知し、芸術文化の輪を広げることができた。</p> <p>【スポーツ】 市民スポーツ活動の活発化につながった。</p> <p>【地域振興】 85件の助成金活用があり、地域活動の活性化につながった。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【文化活動】 〈課題〉 市内の芸術文化活動を活性化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作意欲向上や技術向上を図り、芸術活動を発展させるため、市民文化祭を継続するとともに、展示物のネット配信等も検討していく。 <p>【スポーツ】 〈課題〉 多様化する競技への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体の費用助成を継続するとともに、多様化するスポーツの場と指導者確保の方法について検討する。 <p>【地域振興】 〈課題〉 地域活動の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり活動を積極的に行う団体の発掘と地区公民館における事業の統廃合を検討する。 |

数値目標・重要業績評価指標一覧

市民の生命を守る地域の安全対策

| 重要業績評価指標 (KPI) | | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------------|----------------|---------|--------------|-------------|------|-------|------|------|------|------|
| 4 | 防災行政無線戸別受信機貸与数 | 防災危機管理課 | 80台 | 200台 | 目標 | | | | | 200台 |
| | | | | | 実績 | 118台 | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | A | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | | 担当課 | 基準値 (R元年) | 目標 (R7年) | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 5 | 防災出前講座の開催 | 防災危機管理課 | 1回/年 | 5回/年 | 目標 | | | | | 5回/年 |
| | | | | | 実績 | 13回/年 | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | A | | | | |

| | | |
|----|-----------|--|
| 総括 | 本年度の取組み状況 | <p>【防災】危険エリアに暮らす世帯に対し、戸別受信機を貸与する事業を実施。自主防災組織リーダー研修会や防災出前講座を実施。</p> <p>【要援護者】災害時、要援護者が安全に避難できる体制を構築するため、要援護者台帳を整備。</p> <p>【除排雪】冬の安全な道路交通を確保するため、市道等の除排雪業務を委託。</p> |
| | 取組みの効果 | <p>【防災】災害時の情報を迅速かつ的確に伝える方法の確立により、災害体制の強化が図られた。市民の防災意識の醸成と自主防災力の向上につながった。</p> <p>【要援護者】要援護者の緊急時の不安解消が図られ、災害時の支援体制強化につながった。</p> <p>【除排雪】克雪対策施設の適切な管理、道路除排雪作業により、市民の安全安心の確保につながった。</p> |
| | 課題と今後の取組み | <p>【防災】〈課題〉孤立集落への伝達手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 孤立集落にIP無線機等を配備することで、孤立化するおそれのある集落との伝達手段を確保する。 <p>【要援護者】〈課題〉関係課の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 要援護者宅の所在地など、関係課（防災危機管理課、福祉課）と情報共有が可能なシステムの導入を検討する。 <p>【除排雪】〈課題〉除雪作業員の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 国や県、地元の方々との連携を強化し、今後の克雪体制について検討する。 |

委員からの意見

・令和3年度はコロナ禍にあつて、区長会をはじめとする各会議や講演会が制限された。地域づくりの視察研修回数の進捗がBであることも納得できる。講演会は取り組んだ分だけ効果があり、次の行動の起爆剤になる。コロナ規制が緩和される今後は、ひとつひとつ丁寧に事業を進めて欲しい。

・高齢者の利便性向上を念頭に、コンパクトなまちづくりを進めるべき。また、健康づくりに取り組んだ場合の将来の介護、医療費を推計した上で、今後の施策を検討して欲しい。